

新米学芸員 明野小正月行事体験記

明野に来てから早2ヶ月弱。初めてのお正月を迎えました。1月13日(土)、14日(日)を中心に行われた各地区の小正月行事に、私も参加させていただきました。(内海)

そもそも「小正月」とは・・・

1月15日頃を「小正月」と言い、各地で様々な行事が行われていますが、そもそも「小正月」とは何なのでしょう？

旧暦を採用していた時代、暦が広く使われるようになって、農業一すなわち天候に左右されやすい仕事一に携わっていた人たちは、月の満ち欠けによって季節の移り変わりを認識し、満月の日をひと月のはじめと考えていたようです。元日の後、新年最初の満月の日にあたる15日に、再度「小正月」を祝っていたと考えられます。「小正月」は『農』の正月とも呼ばれ、人々は「五穀豊穡」や「無病息災」など一年の無事を祈りました。明治6年に新暦になり、かつての1月15日は現在の日付とずれてしまうので、地域によっては、小正月行事を旧暦の1月15日頃に行う地域もあるそうです。明野では、新暦の1月15日頃に様々な小正月行事を行っています。

明野では、「おやなぎさん」「獅子舞」「どんど焼き」が小正月行事として今も行われています。どれもが道祖神の近くで行われ、道祖神祭りとしても認識されているのですが、そもそも「道祖神」は、「道路の悪霊を防いで行き交う人々を守護する神様」でした。しかし、その道祖神の「守り神」としての役目はいつしか発展していき、「五穀豊穡」「無病息災」「子宝祈願」など、様々な祈りを聞いてくれる神様になったそうです。



私が実際に見た小正月行事は、「おやなぎさん」(厚芝、上神取上)、獅子舞(厚芝、上神取上)、どんど焼き(中込)です。特に「おやなぎさん」は今でも多くの地区で行われています。

作る時に見学させていただいた厚芝、上神取上以外の「おやなぎさん」も全て見たのですが、同じ明野町内でも、少しずつ飾るものや飾り方、作成時の参加メンバーが違いました。そして、明野の外に目を向けてみると、呼称は違っても、「おやなぎさん」のような、細く割った竹に色紙を取り付け柳のように垂れ下げる形態のものは、甲府盆地を中心に、竹の採れない郡内地方を除く山梨県のほぼ全域に分布しているそうです。郡内地方にも、竹の代わりに杉の大木を使った飾り木を立てる行事があります。正式な記録は残っていないのですが、おそらく江戸時代頃から始められたであろう小正月行事がだんだんと形を変えていき、その土地の色を濃くしていく様はとても興味深いです。

隣の地区であっても全く同じ形態ではなく、逆に、遠く富士山の麓にも由来が同じであろう行事がある。文化とはおもしろいものです。

かやぶん子どもクラブの活動紹介 新シリーズ・昔の遊び体験!!

12月からかやぶん子どもクラブのイベントでは、新シリーズが始まりました。折り紙やメンコなど、今ではあまり見られなくなった昔懐かしい遊びを、子どもたちと一緒に楽しみます。年末年始にかけてのクラブでは、お正月にぴったり!の、すごろく作りと福笑い遊びが登場。子どもたちはすごろくのコマや福笑いの目鼻を、それぞれ工夫を凝らして作っていました。



左: すごろく作り
右: 福笑いに挑戦

前回は広告を使つての紙飛行機&紙鉄砲作りに挑戦! これからも、今現在でも楽しめるような遊びがどんどん登場してきます。どうぞお楽しみに!

平成18年度おかげらチャレンジ教室 第5回練習が行われました!

1月20日(土)には、第5回目おかげらチャレンジ教室の練習が行われました。これまでの足運びに加えて、鈴や御幣を持った手の動きも習い始め、練習の内容もだんだんと高度になってきました。美しい舞の型にする為の姿勢や、道具の持ち方の指導など、先生方の教えにも熱が入っていました。



茅葺技術保存伝承活動事業 茅場および茅葺民家見学研修のお知らせ

かやぶんでは、茅葺技術保存伝承活動事業の一環として、茅を育てている「茅場」での研修と、茅葺民家の見学ツアーを行います。興味のある方・詳しい内容をご希望の方はかやぶんまでご連絡ください。

=かやぶん子どもクラブ=

2月の予定～

● 茶道教室 第5回目

楽しくお茶の作法を学んで覚えよう。

日にち: 2月8日(木) 午後5時～7時

● 明野かるたを作ろう! ① (昔の遊び体験)

明野の行事を元にしてかるたを作ってみよう!

日にち: 2月14日(水) 午後5時～7時

● 明野カルタを作ろう! ② (昔の遊び体験)

明野の行事を元にしてかるたを作ってみよう!

日にち: 2月22日(木) 午後5時～7時

お問い合わせは茅ヶ岳歴史文化研究所まで。

TEL: 0551-25-2019

=会員募集=

～茅ヶ岳歴史文化研究所の活動に

あなたの力をかしてください～

こんなことをやってみたい!

- 歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい
 - 活動を通じて文化財保護や活用に役立ちたい
 - イベントを通じてさまざまな人と交流したい
- 茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動して下さる方、ご賛同いただける方を募集しています。

入会金 1,000 円

年会費 5,000 円

=編集後記=

新しい年を迎え、今年も町内のあちこちで小正月の行事が行われていました。色とりどりに飾られた枝が美しいおやなぎさんや、笛や太鼓の賑やかなお囃子にあわせて家々を巡る獅子に込められた、幸せな年であれという人々の願いは、時代が移り、祭りの形が変容しても、変わることなく続けられていくことでしょう。皆様にとっても、今年一年がよい年でありますように。

かやぶんかわら版 第22号

平成19年1月29日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所

〒407-0204 北杜市明野町上手8310

明野歴史民俗資料館内

TEL/FAX 0551-25-2019

ホームページ <http://www.kaya-net.jp>